

No.	論点の内容		意見等のまとめ <意見等の趣旨>	実施計画（案）たたき台 該当箇所・内容	議論のための視点
1	論点1	学区の考え方（地域との関わり） 【行政区と学区の関係性】	行政区・公民館の活動対象区域を基本とする（分断しない）ことの妥当性について	P 1（地域設定（学区）検討の視点） 【1-1-(1)-イ-①】	① 子どもたちの望ましい学習環境の整備の観点から、様々な学校規模のパターンを検討可能とするため、合併前の市町村の区域を超える場合や既存中学校区を超えての地域設定（学区）について検討する必要があるのではないか。 ② 学区と地域（行政区や公民館の活動対象区域）を同一にしようとする考えなのか。
2	論点2	学区の考え方（地域との関わり） 【分散進学のは非】	同じ小学校の児童は同じ中学校へ進学することを基本とすることの妥当性について	P 1（地域設定（学区）検討の視点） 【1-1-(1)-イ-③】	① 既存の通学区域（学区）の変更となるのではないか。 ② 第三中学校の生徒数の減少につながるのではないか。 ③ 距離的に第三中学校が近い児童が、第二中学校に通学することを妥当と考えるのか。
3	論点3	児童生徒の日々の生活 【通学時間・距離】	通学時間・通学距離の上限の目安の変更可能性について	P 1（地域設定（学区）検討の視点） 【1-1-(2)】	① 喜多方の地形や降雪期を考慮し、市独自の基準で考えていくべきではないか。
4	論点4	適切な通学手段の確保	スクールバス運行の必要性について	P 1（地域設定（学区）検討の視点） 【1-1-(2)】	① 通学環境の変化に対応するため、通学支援について市内全域で統一した基準が必要ではないか。（スクールバスの運行、通学費助成事業等） ② 通学路の変更（延長）や児童数の減少の観点から通学上の安全対策を考えていくべきではないか。 ③ 現行のスクールバスの運行は保障されるのか。
5	論点5	望ましい学校規模 【望ましい学級数・学級の人数】	望ましい学校規模の考え方の妥当性について	P 3（学校規模検討の視点）	① 望ましい学校規模に達しない地区（学校）については、どのように考えればよいのか。（学級数、学級の人数とも望ましい学校規模に該当する必要があるのか。） ② 市の実情を考慮した学級数・学級の人数に改める必要があるのではないか。